

登録コード	ASJ03688	開講年度	2026				
授業科目	特別研究				担当教員	池田 敬	
英文授業名	Graduate Research				副担当		
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	修士2年
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				既知の情報に基づき, 独自性, 新規性のある研究計画を立案でき, 実行できる。		
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				得られた成果を国内外の学術集会において発表できる。		
授業の概要	野生動物に関連する分野の研究テーマを設定し, 研究計画の立案, 研究遂行に必要な調査や解析技術, 結果に対する考察などについて指導します。 日々のディスカッションを通じて問題解決能力, プレゼンテーション能力などの基礎的な研究能力を身につけます。 研究の進行状況に応じて, 得られた成果を総括し, 国内外での学術研究発表会等で発表します。 修論審査会・発表会に向けた研究指導を行い, 高度専門職業人として必要な実践力を養成します。						
Contents:	Students will learn a lot of skills such as planning of investigations and experimental techniques for study on wildlife management throughout their own research.						
授業計画	研究室のゼミを含め, 頻繁に相談, 報告, 得られた結果の解釈など, 打合せを行いながら, 研究に取り組みます。 学会・シンポジウムでの発表時には, 前もって準備を行い, 発表練習を行います。						
成績評価の方法	日々の学習意欲, 資料作成能力, 大学院生として率先して示される調査・研究に対する姿勢などを踏まえて総合的に評価します。						
成績評価の基準	修士論文の作成過程を総合的に判断し, その内容が授業の達成目標の水準から見て, 『卓越している』= 秀 / 『かなり上にある』= 優 / 『やや上にある』= 良 / 『その水準にある』= 可とします。						
事前事後学習の内容	習得した技術や知識は復習し理解を深め, 疑問点があれば放置せず, 相談しながらすぐに解決することを心がけてください。						
履修上の注意	特になし						
質問, 相談への対応	質問等は, メールあるいは対面で随時受け付けます。 ikedat_a13@shinshu-u.ac.jp						
学生へのメッセージ	学部生とは異なり, 修士課程は自主性が必要です。 基本的には, 手を差し伸べるのが少ないので, 教員と相談し, 積極的に研究を進めましょう。						
【教科書】	特になし						
【参考書】	特になし						